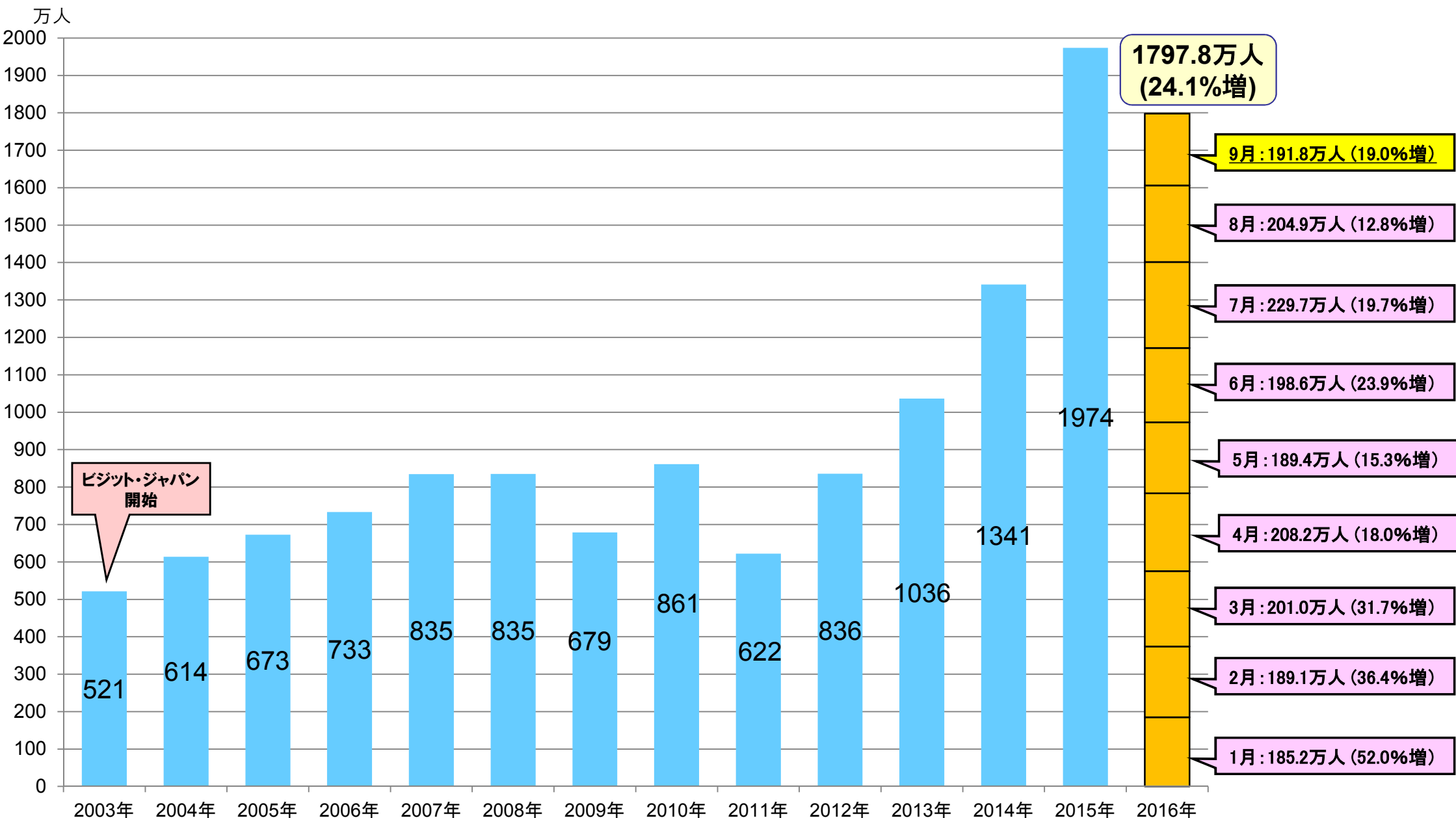


観光の現状

平成28年10月27日

訪日外国人旅行者数の推移

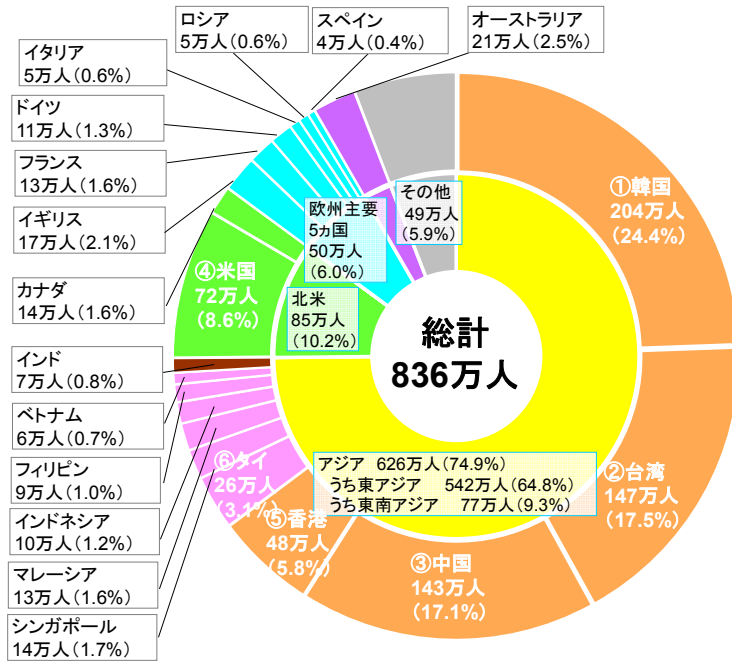


注) 2015年の値は確定値、2016年1～7月の値は暫定値、2016年8月～9月の値は推計値、%は対前年(2015年)同月比

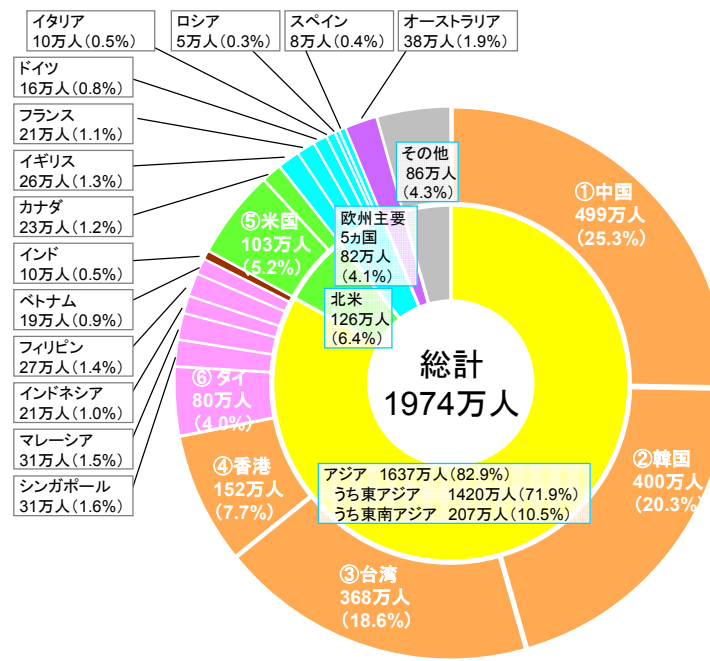
出典: JNTO(日本政府観光局)

訪日外国人旅行者数及び割合(国・地域別)

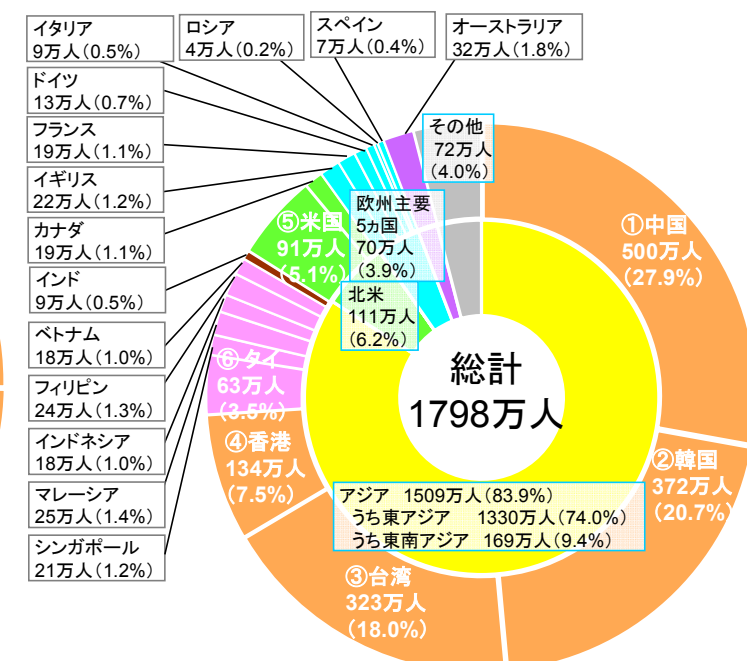
【2012年(確定値)】



【2015年(確定値)】

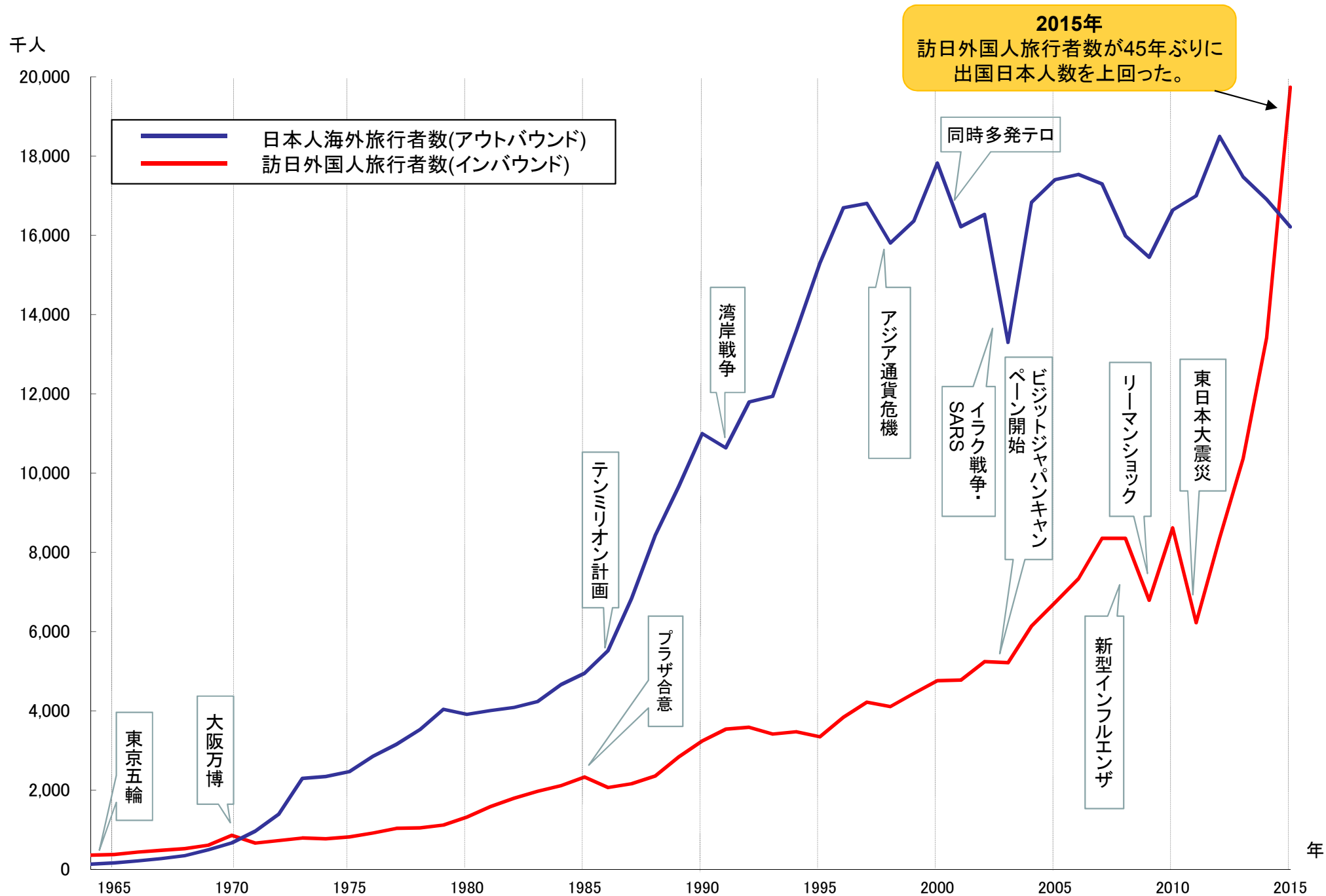


【2016年1-9月(推計値)】



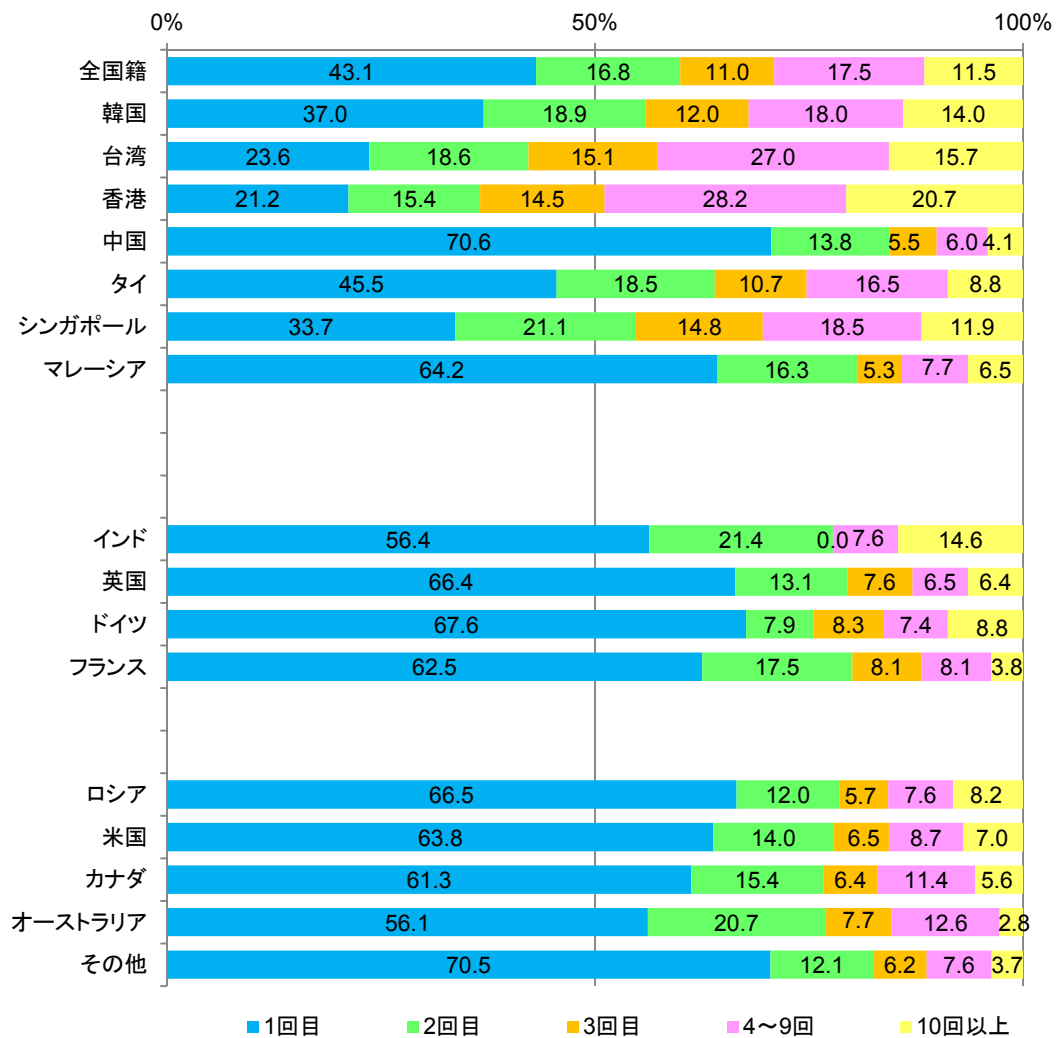
※ ()内は、訪日外国人旅行者数全体に対するシェア
 ※ その他には、アジア、欧州等各地域の国であっても記載のない国・地域が含まれる。
 ※ 数値は、それぞれ四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しない場合がある。
 ※ 日本政府観光局(JNTO)資料より観光庁作成

訪日外客数と出国日本人数の推移(1964年~2015年)

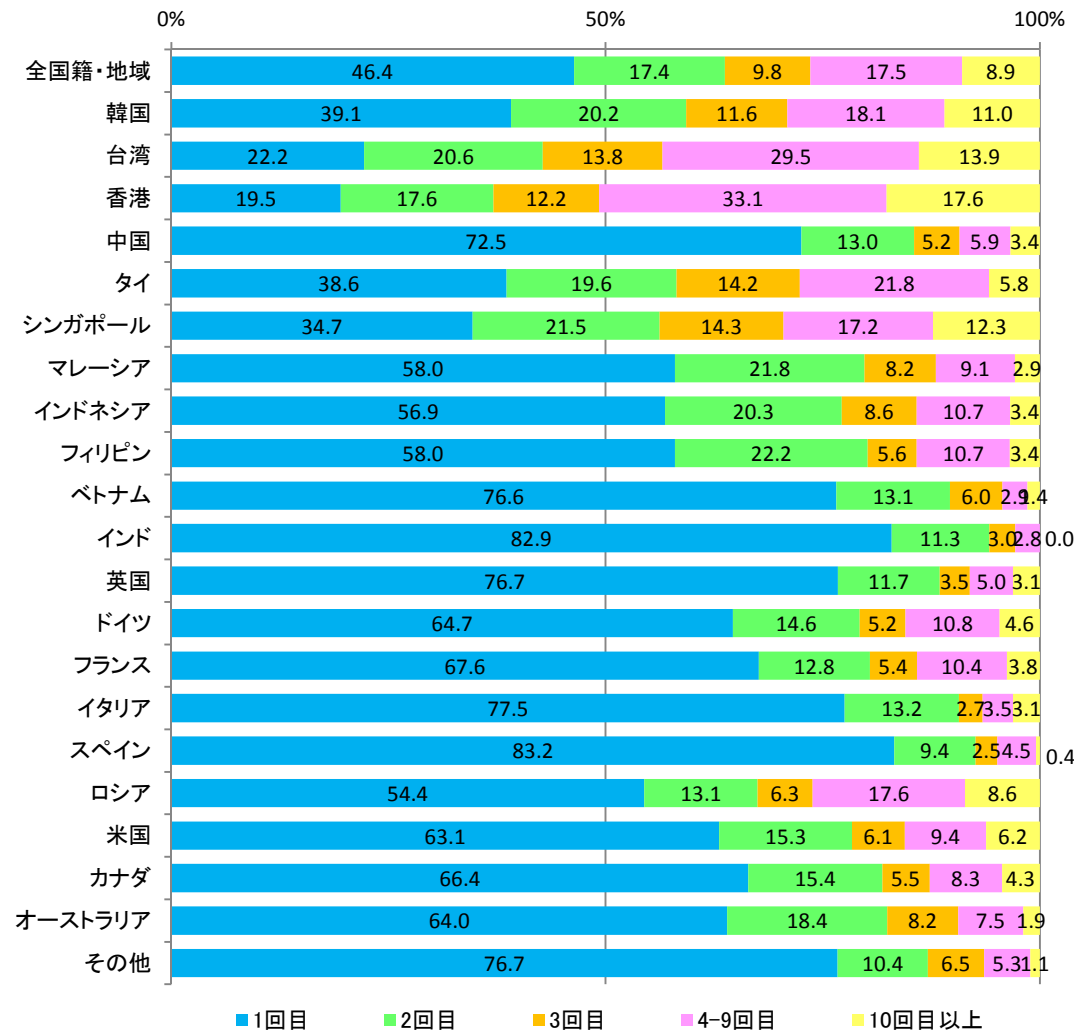


訪日外国人の来訪回数(国籍・地域別、観光・レジャー目的)

【2012年(確定値)】

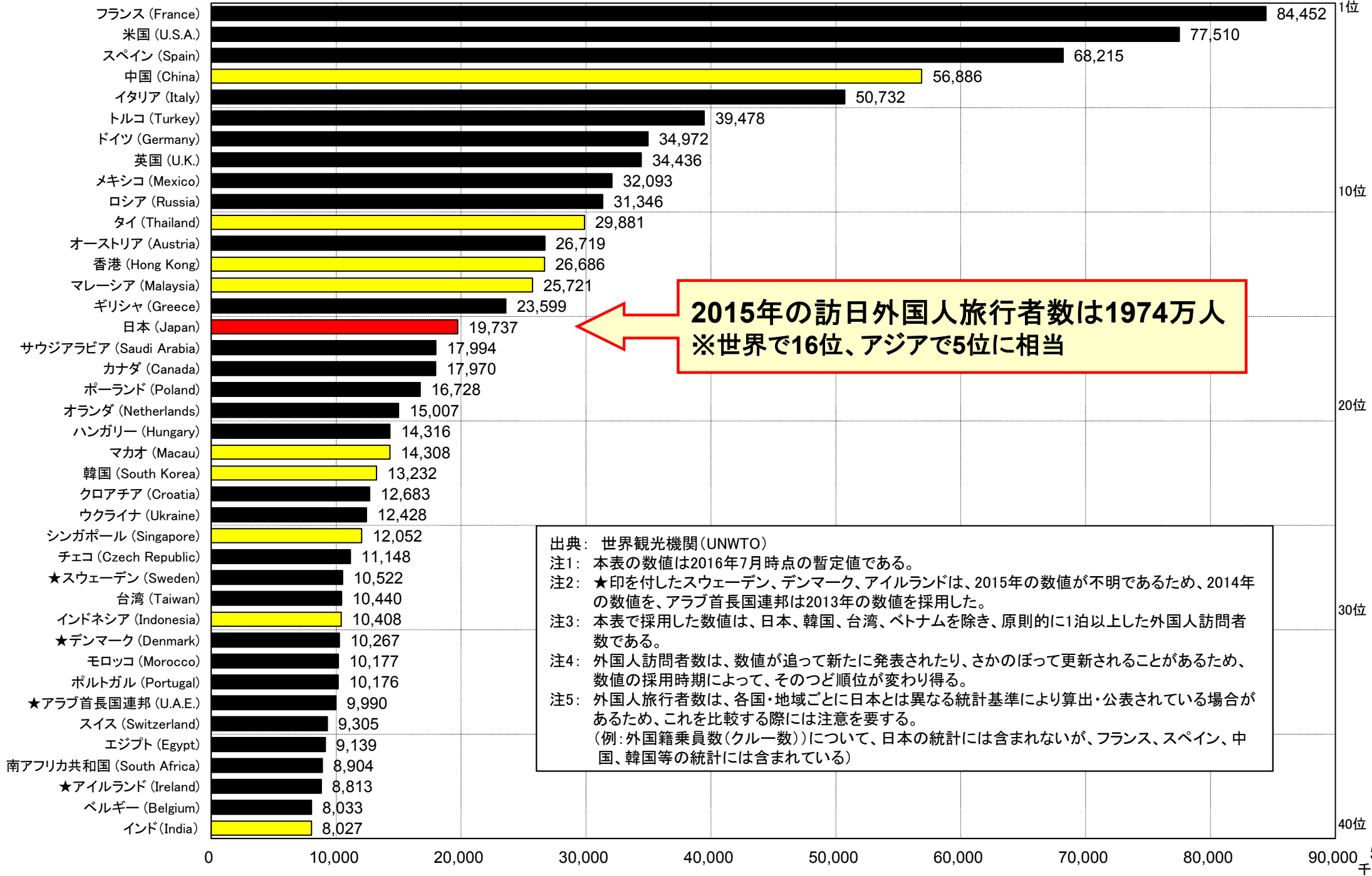


【2015年(確定値)】



*2012年はインドネシア、フィリピン、ベトナム、イタリア、スペインは国籍・地域別集計の対象外

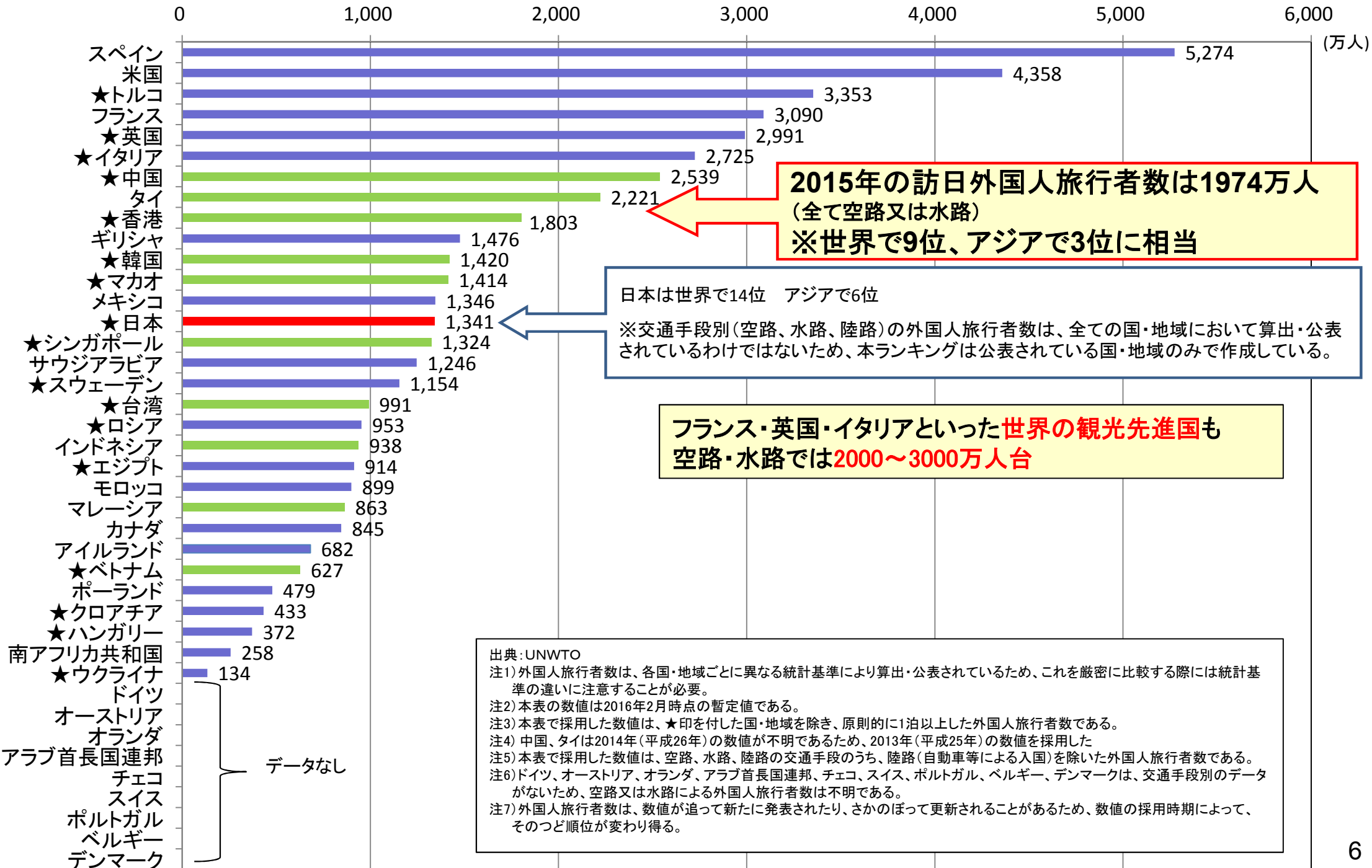
外国人旅行者受入数の国際比較(2015年)



**2015年の訪日外国人旅行者数は1974万人
※世界で16位、アジアで5位に相当**

出典: 世界観光機関 (UNWTO)
 注1: 本表の数値は2016年7月時点の暫定値である。
 注2: ★印を付したスウェーデン、デンマーク、アイルランドは、2015年の数値が不明であるため、2014年の数値を、アラブ首長国連邦は2013年の数値を採用した。
 注3: 本表で採用した数値は、日本、韓国、台湾、ベトナムを除き、原則的に1泊以上した外国人訪問者数である。
 注4: 外国人訪問者数は、数値が追って新たに発表されたり、さかのぼって更新されることがあるため、数値の採用時期によって、そのつど順位が変わり得る。
 注5: 外国人旅行者数は、各国・地域ごとに日本とは異なる統計基準により算出・公表されている場合があるため、これを比較する際には注意を要する。
 (例: 外国籍乗員数(クルー数))について、日本の統計には含まれないが、フランス、スペイン、中国、韓国等の統計には含まれている)

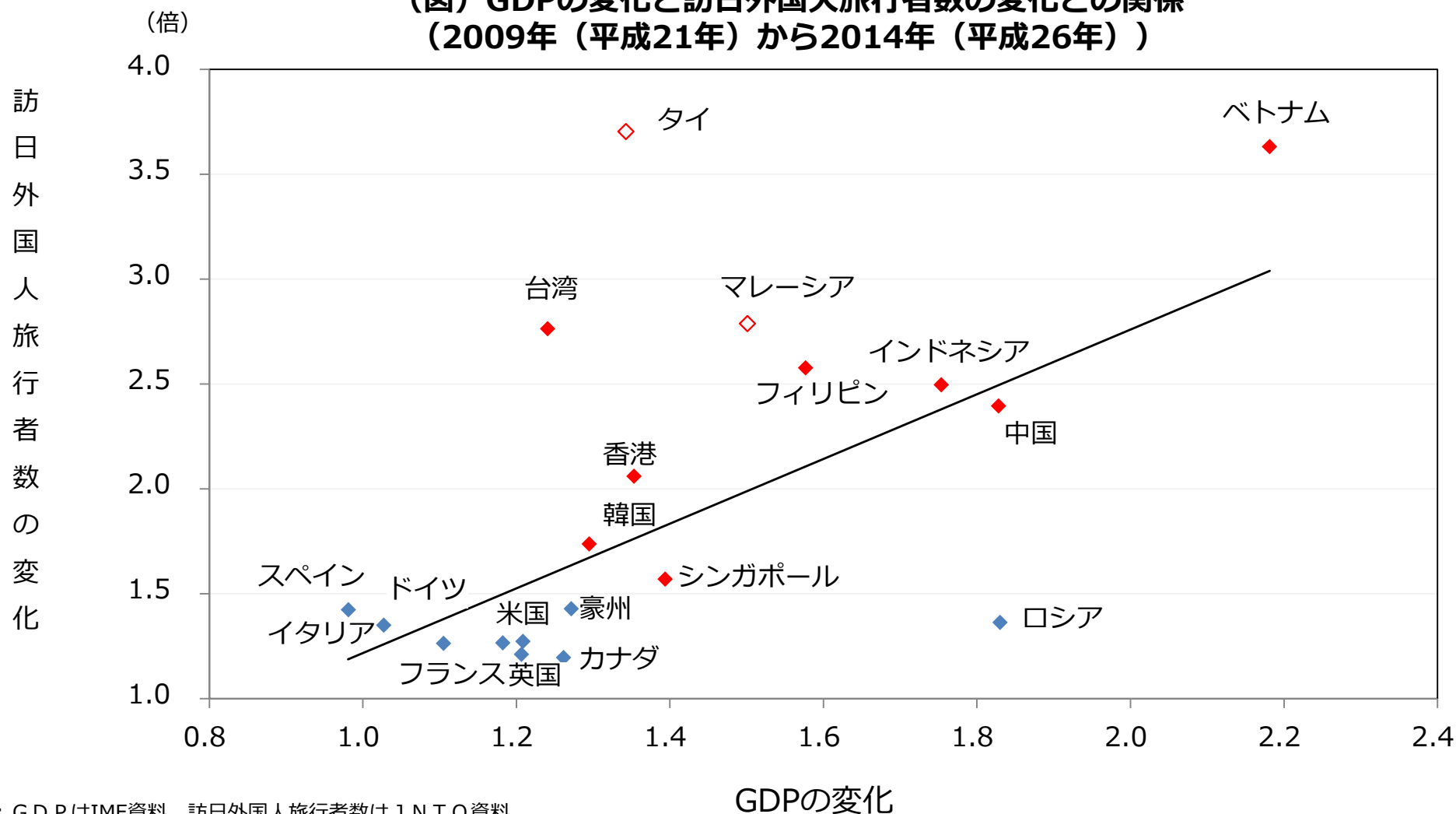
空路又は水路による外国人旅行者受入数の国際比較(2014年)



GDPの変化と訪日外国人旅行者数の変化との関係

- 訪日外国人旅行者数が多い国・地域において、GDPの増加に伴い、訪日数も増加している。
- 近似線の作図には、期間中にビザ免除がおこなわれたタイ、マレーシアのデータを除いている

(図) GDPの変化と訪日外国人旅行者数の変化との関係
(2009年(平成21年)から2014年(平成26年))

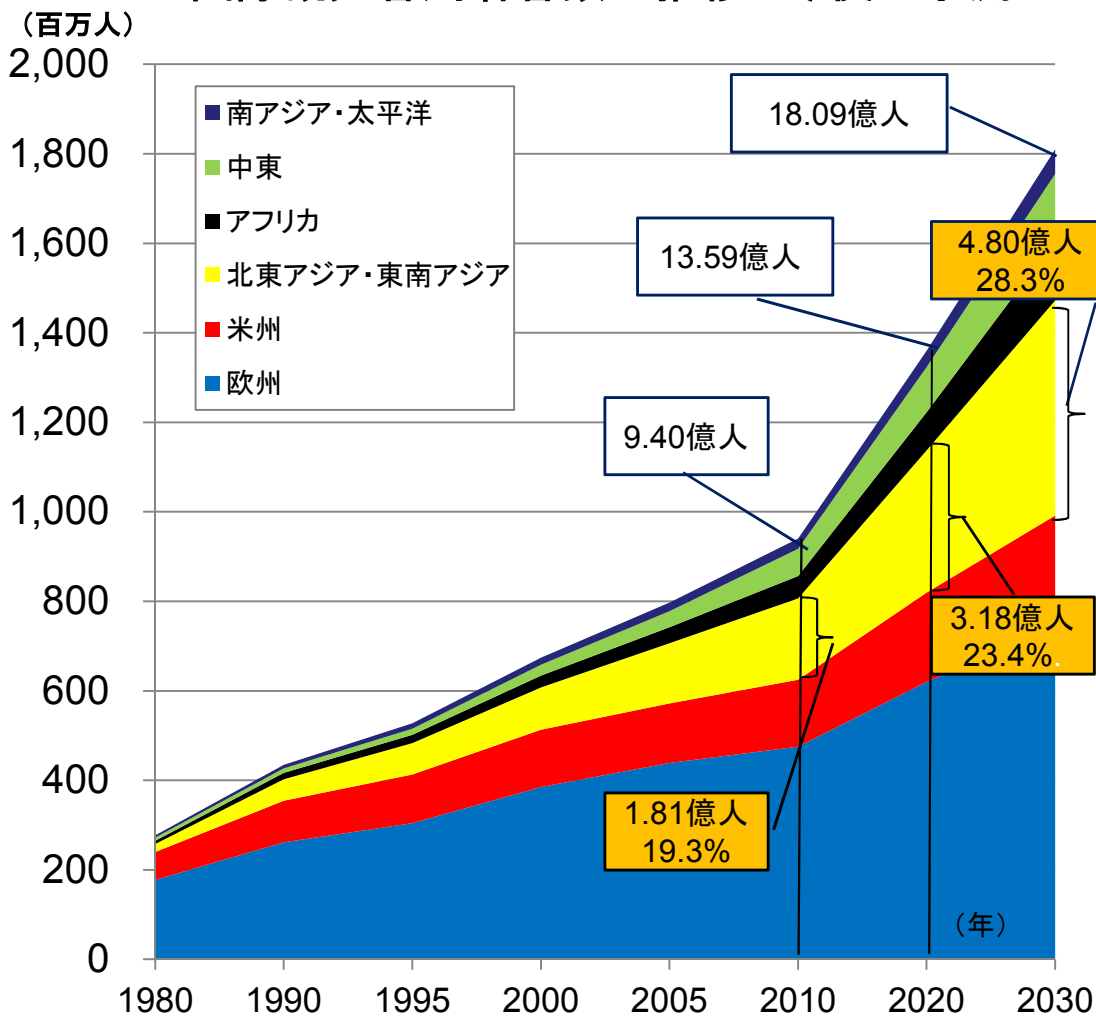


出典：GDPはIMF資料。訪日外国人旅行者数はJNTO資料。

拡大する国際観光市場(長期予測)

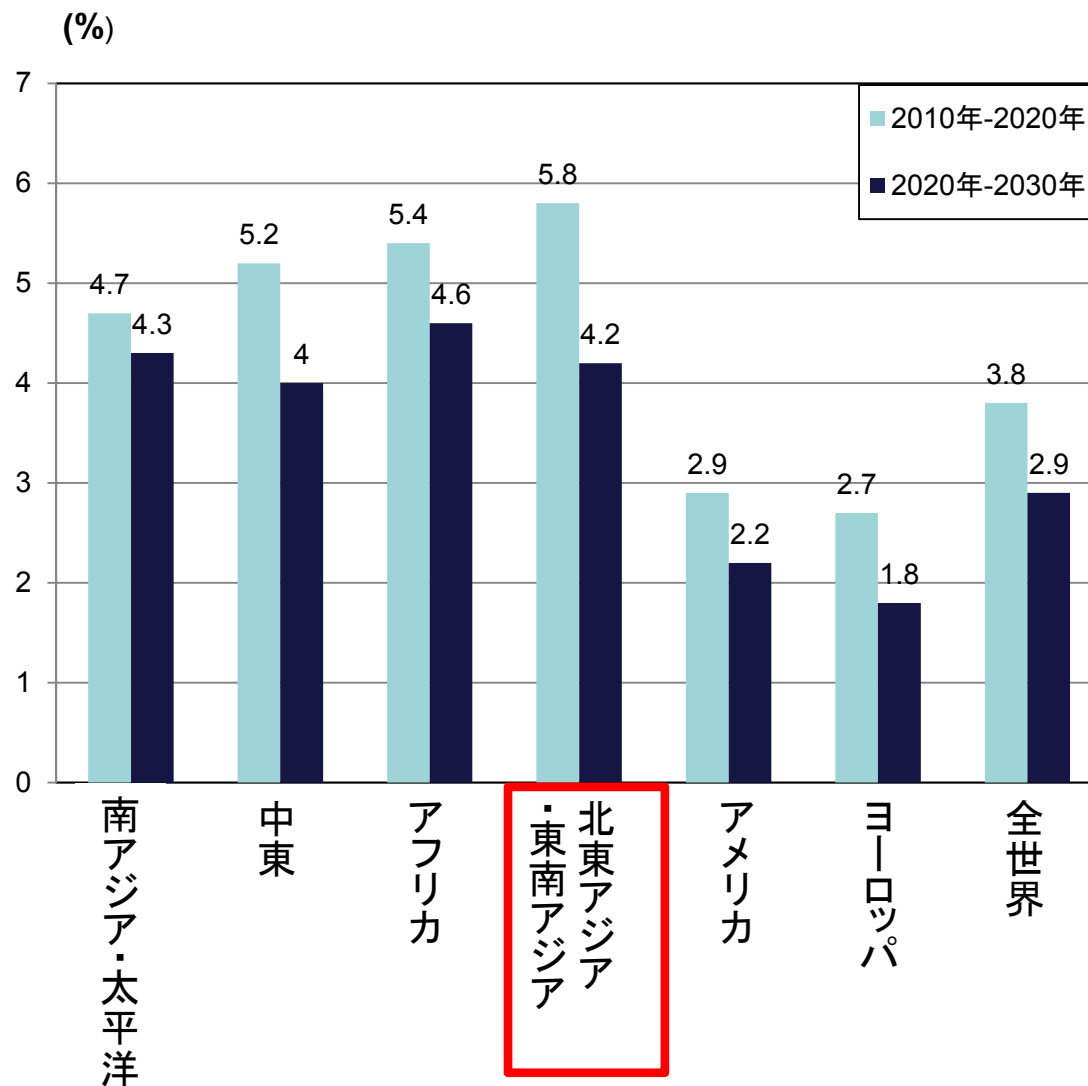
○北東アジア・東南アジア地域は世界の中で最も高い伸びが予測される国際観光市場。

国際観光客到着客数の推移と今後の予測



(出展)UNWTO「Tourism Towards2030」

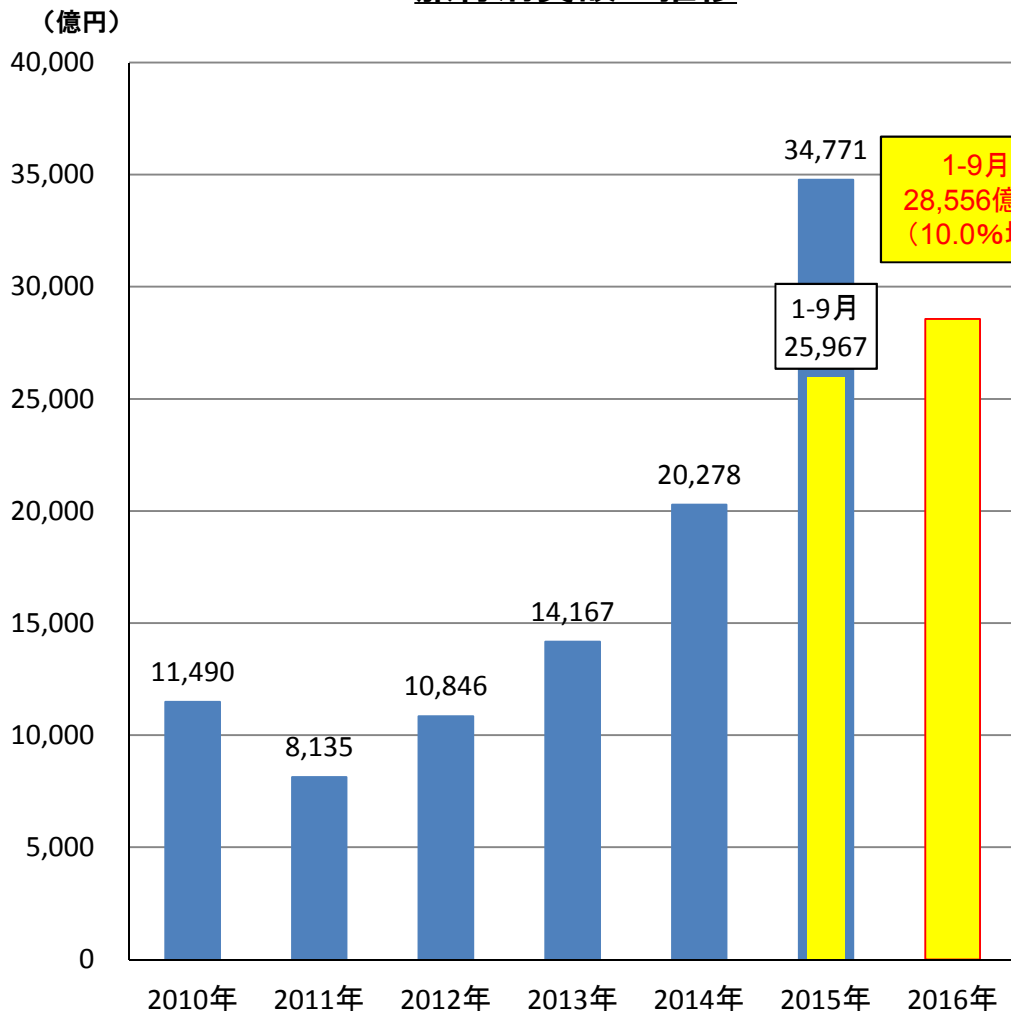
国際観光客到着客数の年平均伸び率予測



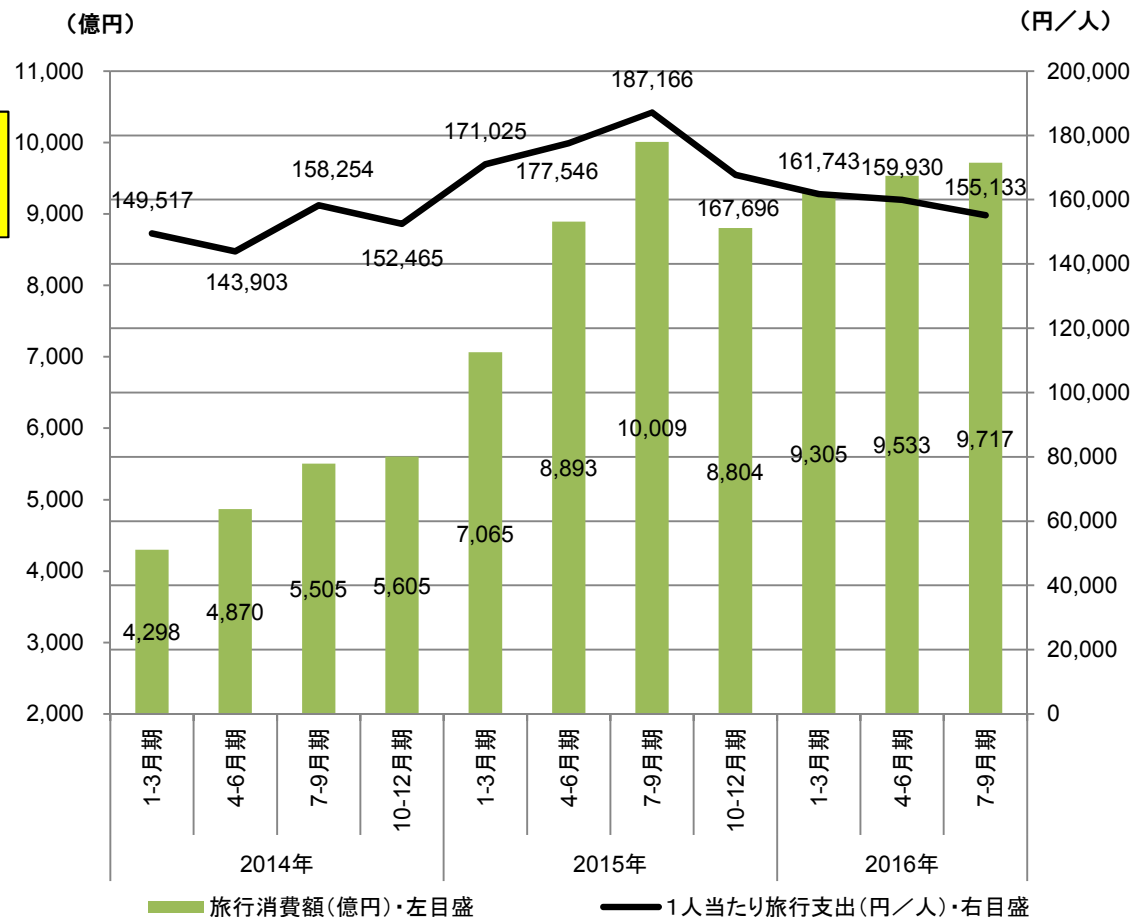
2016年7-9月期の訪日外国人旅行消費額について

- 訪日外国人旅行消費額は**9,717億円**。前年同期(1兆0,009億円)に比べ**2.9%減少**。前年同期比での減少は、**19四半期ぶり**(平成23年10-12月期以来)。
- 平成28年7-9月期の訪日外国人1人当たりの旅行支出は**155,133円**。前年同期(187,166円)に比べ**17.1%減少**。
- 旅行消費額の高い上位5市場(中国、台湾、韓国、香港、米国)の1人当たり旅行支出を現地通貨ベースで見ると、**香港を除き前年同期に比べ増加**。日本円ベースでの1人当たり旅行支出の減少には、**為替レートの高円高方向への動きも大きく影響**。

旅行消費額の推移

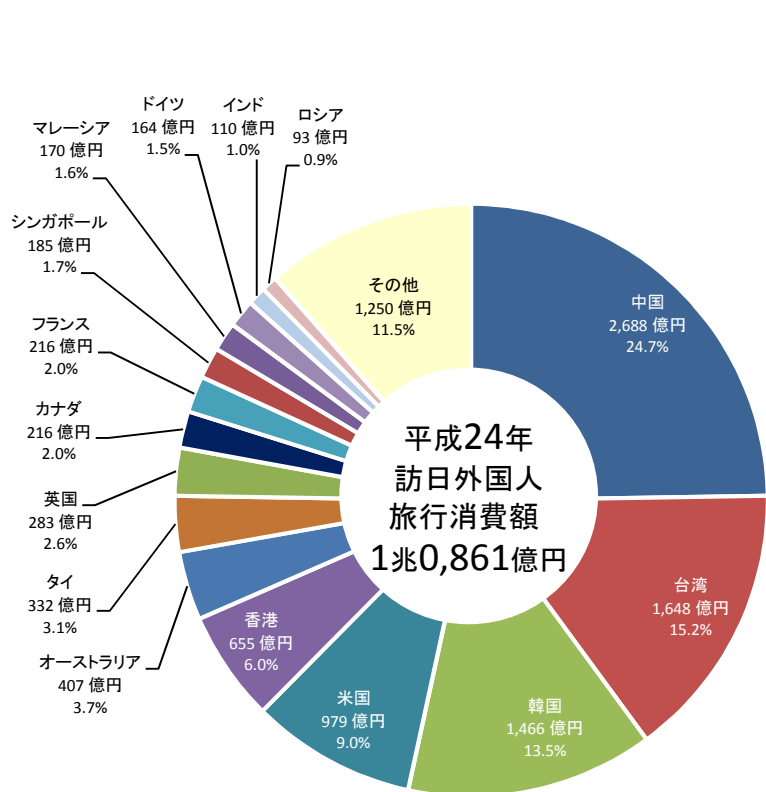


四半期毎の旅行消費額と1人当たり旅行支出の推移

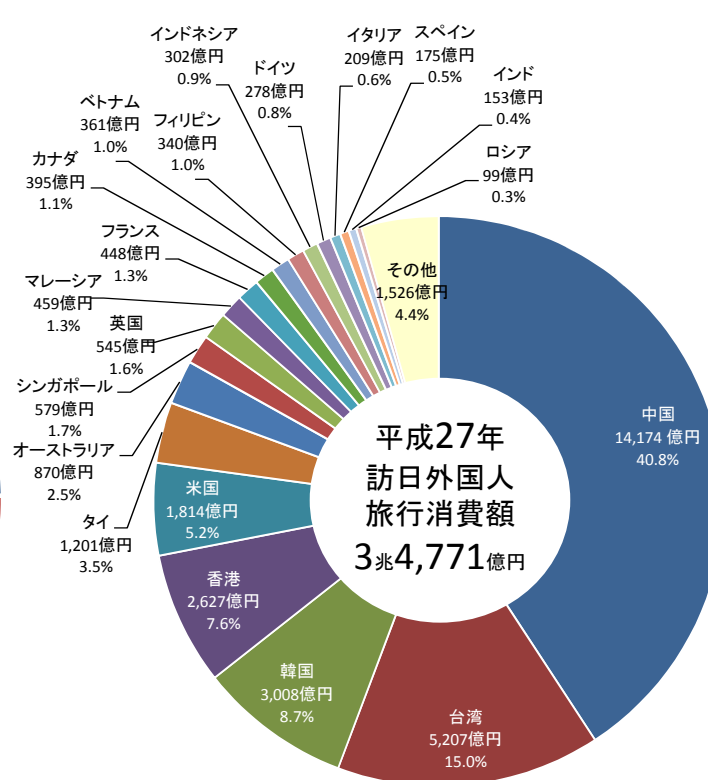


訪日外国人旅行消費額及び割合(国・地域別)

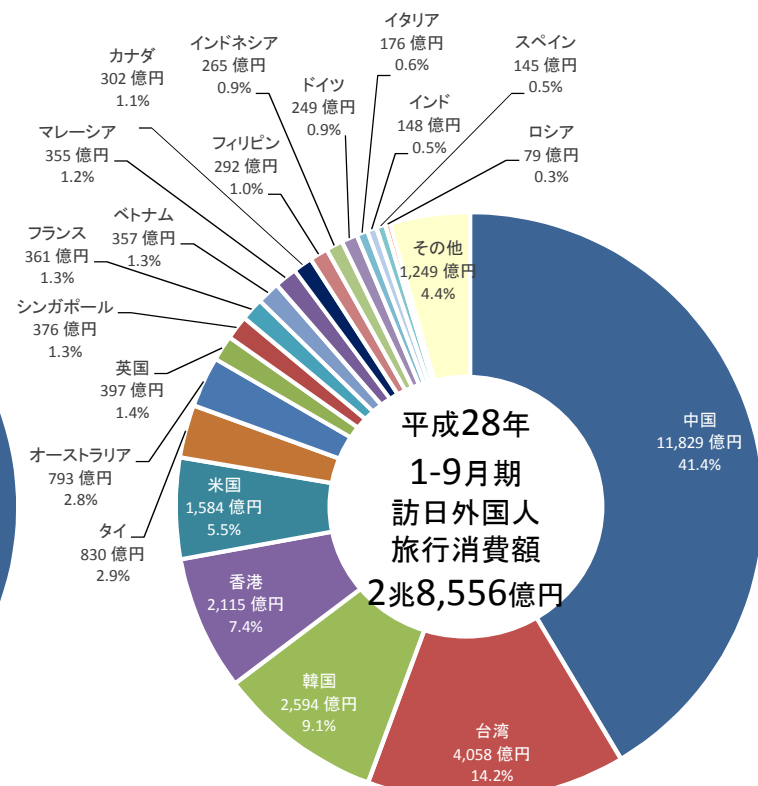
【2012年(確定値)】



【2015年(確定値)】



【2016年1月～9月(速報値)】



注1) パーセンテージは、訪日外国人旅行消費額全体に対する割合。
 注2) インドネシア・フィリピン・ベトナムは2014年から、イタリア・スペインは2015年から調査対象に追加。
 注3) 2016年上半期は、速報値につき、今後、数値が更新される可能性がある。

訪日外国人旅行消費額上位5か国の旅行消費額・旅行者数・1人当たり旅行支出(総額及び費目別)

(※現地通貨ベース)

●中国

	旅行消費額 (億人民元)	訪日外国人 旅行者数 (人)	1人当たり旅行支出							為替 レート (円/人民元)
			総額 (人民元)	買物代 (人民元)	宿泊料金 (人民元)	飲食費 (人民元)	交通費 (人民元)	娯楽 サービス費 (人民元)	その他 (人民元)	
平成27年7月-9月 (現地通貨ベース)	236	1,659,568	14,238	7,283	2,752	2,302	1,315	472	115	19.72
平成28年7月-9月 (現地通貨ベース)	285	1,930,686	14,783	6,616	3,311	2,905	1,471	408	72	15.41
前年同期比 (現地通貨ベース)	20.8%	16.3%	3.8%	-9.2%	20.3%	26.2%	11.9%	-13.5%	-37.8%	-21.9%

●台湾

	旅行消費額 (億台湾ドル)	訪日外国人 旅行者数 (人)	1人当たり旅行支出							為替 レート (円/ニュー 台湾ドル)
			総額 (台湾ドル)	買物代 (台湾ドル)	宿泊料金 (台湾ドル)	飲食費 (台湾ドル)	交通費 (台湾ドル)	娯楽 サービス費 (台湾ドル)	その他 (台湾ドル)	
平成27年7月-9月 (現地通貨ベース)	361	978,509	36,847	14,801	10,116	6,206	4,269	1,452	3.2	3.85
平成28年7月-9月 (現地通貨ベース)	399	1,077,702	36,990	12,299	11,273	7,684	4,408	1,323	2.8	3.24
前年同期比 (現地通貨ベース)	10.6%	10.1%	0.4%	-16.9%	11.4%	23.8%	3.3%	-8.9%	-13.8%	-15.9%

●韓国

	旅行消費額 (億ウォン)	訪日外国人 旅行者数 (人)	1人当たり旅行支出							為替 レート (円/ウォン)
			総額 (ウォン)	買物代 (ウォン)	宿泊料金 (ウォン)	飲食費 (ウォン)	交通費 (ウォン)	娯楽 サービス費 (ウォン)	その他 (ウォン)	
平成27年7月-9月 (現地通貨ベース)	7,605	1,036,415	733,787	203,923	216,103	183,526	86,209	33,053	10,974	0.11
平成28年7月-9月 (現地通貨ベース)	9,902	1,336,508	740,856	201,501	230,060	189,660	82,808	35,406	1,422	0.09
前年同期比 (現地通貨ベース)	30.2%	29.0%	1.0%	-1.2%	6.5%	3.3%	-3.9%	7.1%	-87.0%	-12.7%

●香港

	旅行消費額 (億香港ドル)	訪日外国人 旅行者数 (人)	1人当たり旅行支出							為替 レート (円/香港ドル)
			総額 (香港ドル)	買物代 (香港ドル)	宿泊料金 (香港ドル)	飲食費 (香港ドル)	交通費 (香港ドル)	娯楽 サービス費 (香港ドル)	その他 (香港ドル)	
平成27年7月-9月 (現地通貨ベース)	50	415,420	12,121	5,413	3,186	1,998	1,190	333	0.0	15.89
平成28年7月-9月 (現地通貨ベース)	53	474,830	11,117	3,562	3,469	2,179	1,429	469	8.5	13.23
前年同期比 (現地通貨ベース)	4.8%	14.3%	-8.3%	-34.2%	8.9%	9.1%	20.0%	40.8%	-	-16.7%

●米国

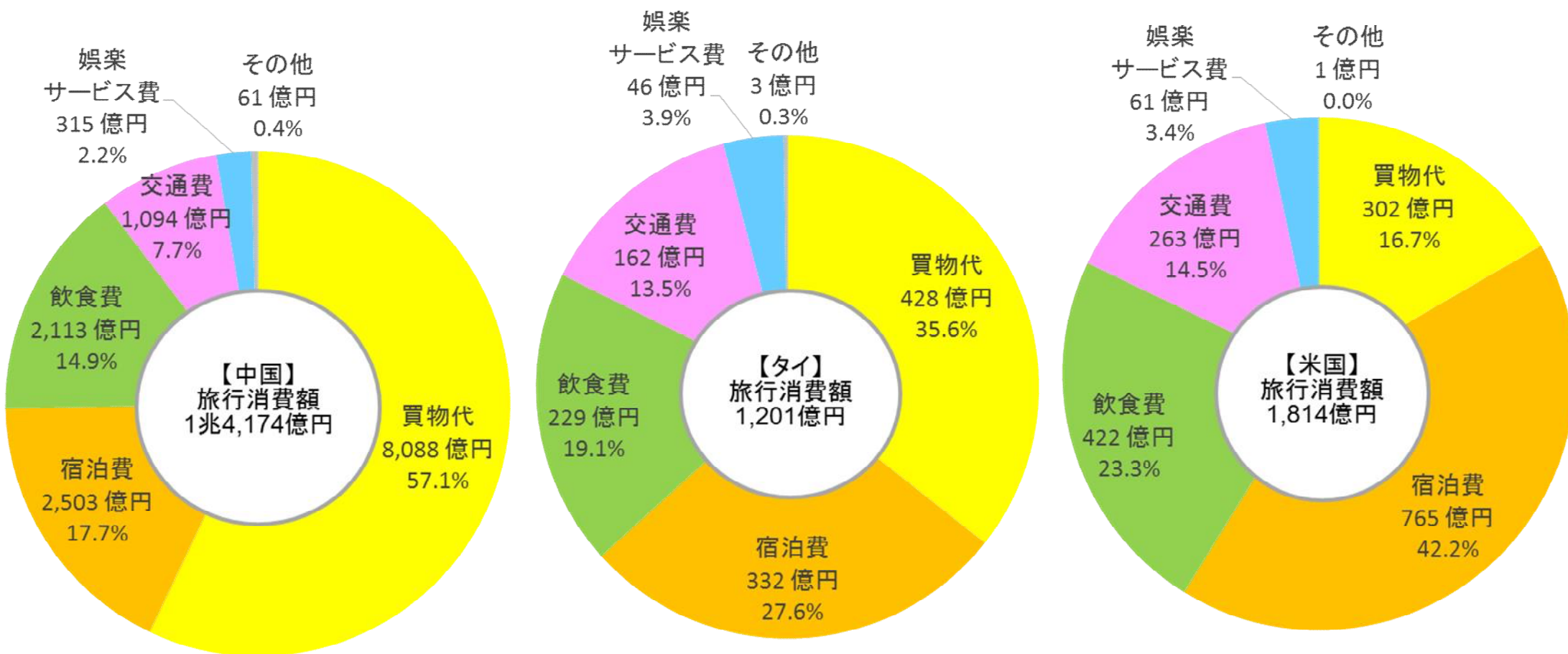
	旅行消費額 (億米ドル)	訪日外国人 旅行者数 (人)	1人当たり旅行支出							為替 レート (円/米ドル)
			総額 (米ドル)	買物代 (米ドル)	宿泊料金 (米ドル)	飲食費 (米ドル)	交通費 (米ドル)	娯楽 サービス費 (米ドル)	その他 (米ドル)	
平成27年7月-9月 (現地通貨ベース)	3.7	251,406	1,459	233	608	346	230	41	0.8	123.14
平成28年7月-9月 (現地通貨ベース)	5.2	303,236	1,710	278	648	430	291	60	4.1	102.65
前年同期比 (現地通貨ベース)	41.4%	20.6%	17.2%	19.0%	6.6%	24.2%	26.6%	44.4%	391.1%	-16.6%

注1)赤字:前年同期比で減少したもの。

注2)現地通貨ベースの額は、IMFやFRB公表のデータに基づき調査期間平均対円レートにて換算。

費目別・国別訪日外国人旅行消費額(2015年)

2015年 費目別旅行消費額(中国、タイ、米国)

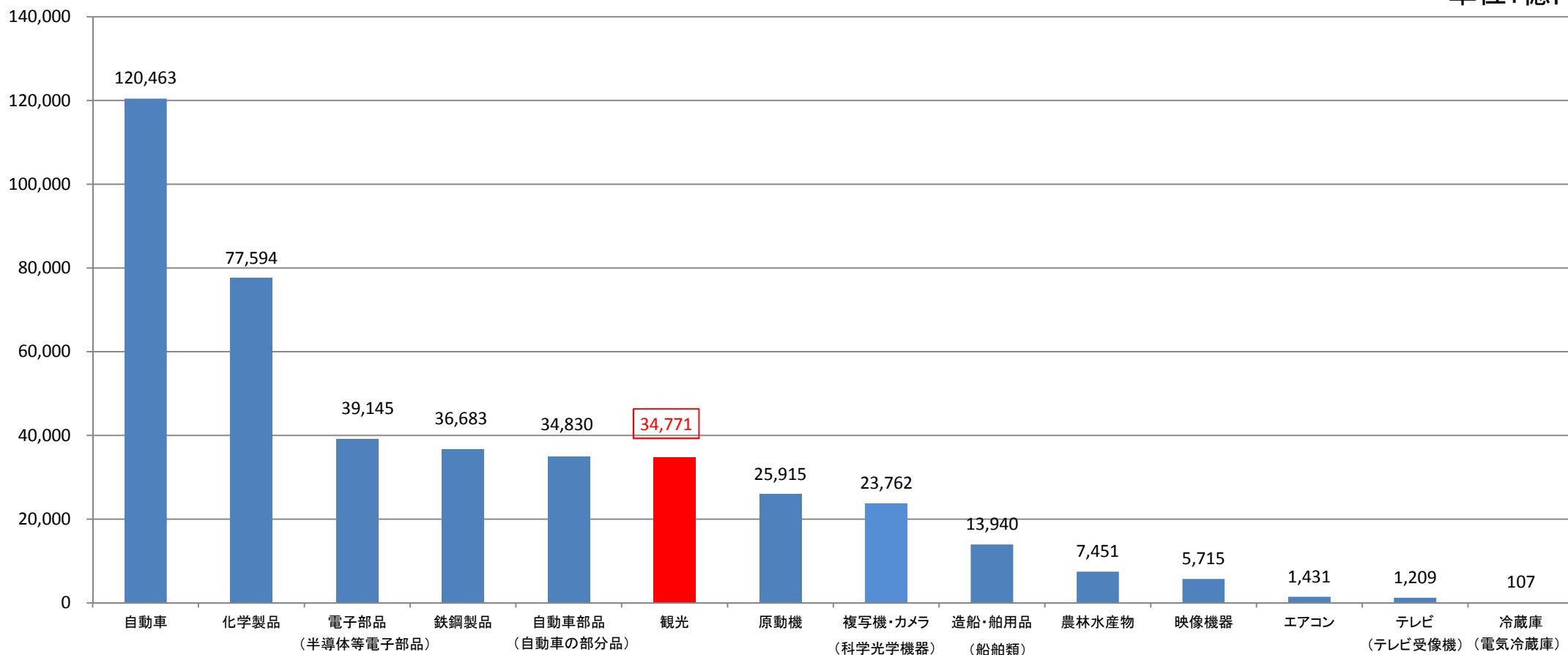


出典: 観光庁「訪日外国人消費動向調査」

訪日外国人旅行消費額の製品別輸出額との比較(2015年)

○2015年の訪日外国人旅行消費額は3兆4,771億円で、自動車部品の輸出額に近い水準となっている。

単位: 億円



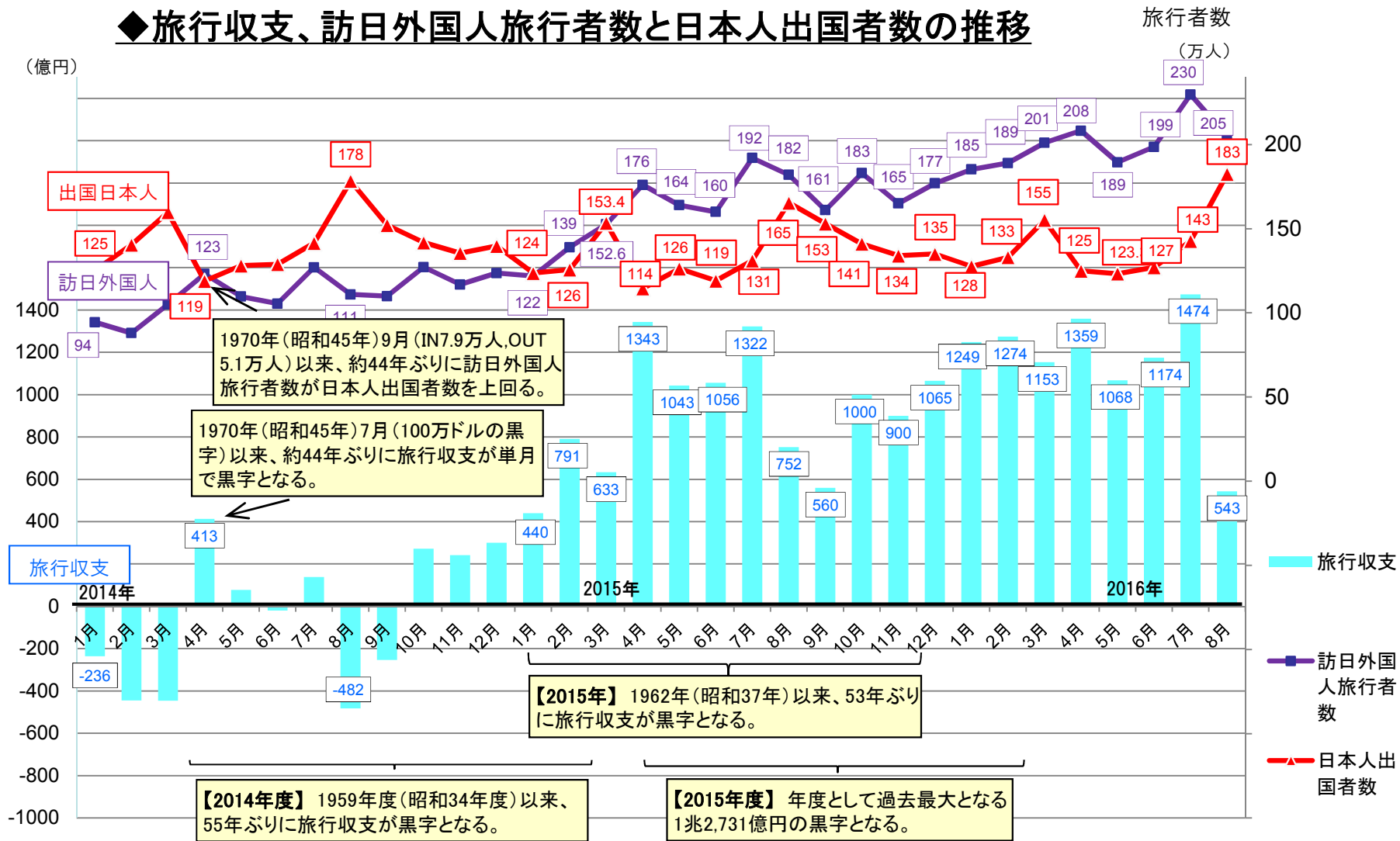
※観光、造船・舶用品および農林水産物以外の各製品の金額は貿易統計(財務省)より算出。
 ※造船・舶用品以外の金額は2015年の値。
 ※造船・舶用品の金額は2014年の値で、海事局データより算出。
 ※農林水産物の金額は農林水産省公表値。
 ※映像機器にはテレビの輸出額を含む。
 ※カッコ内に記載の品名は、貿易統計における品名を示す。

国際旅行収支の改善について

- ビジット・ジャパン事業を2003年に開始して以来、国際旅行収支は改善。
- 2015年はすべての月において黒字となり、暦年としては1962年(昭和37年)以来53年ぶりに黒字(1兆905億円)に転化した。
- 2016年8月は、前年同月と比べて小幅ながら黒字幅を縮小し、543億円の黒字となった。

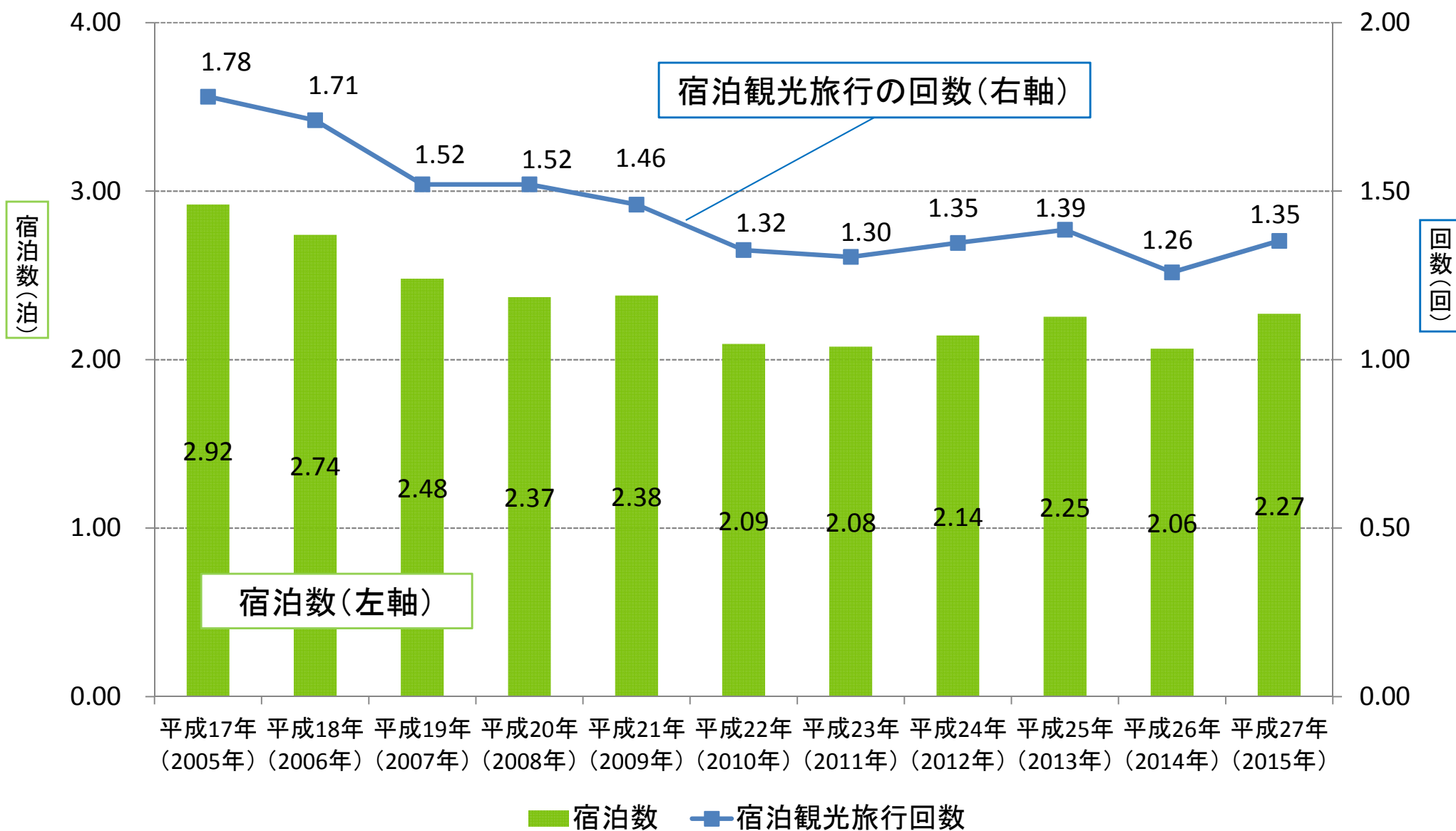
年	旅行収支 (億円)
1996年	▲ 35,880
1997年	▲ 34,651
1998年	▲ 32,739
1999年	▲ 33,287
2000年	▲ 30,730
2001年	▲ 28,168
2002年	▲ 28,879
2003年	▲ 23,190
2004年	▲ 29,189
2005年	▲ 27,659
2006年	▲ 21,409
2007年	▲ 20,199
2008年	▲ 17,631
2009年	▲ 13,886
2010年	▲ 12,875
2011年	▲ 12,963
2012年	▲ 10,617
2013年	▲ 6,545
2014年	▲ 444
2015年	10,905

◆旅行収支、訪日外国人旅行者数と日本人出国者数の推移



出典:旅行収支…財務省国際収支統計、訪日外国人旅行者数…日本政府観光局(JNTO)訪日外客数、日本人出国者数…法務省出入国管理統計
 注)旅行収支における2016年7月~8月の値は速報値、2014年10月~2016年6月の値は第2次速報値、2014年9月以前の値は確報値
 期間集計における数値は、それぞれ四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しない場合がある。

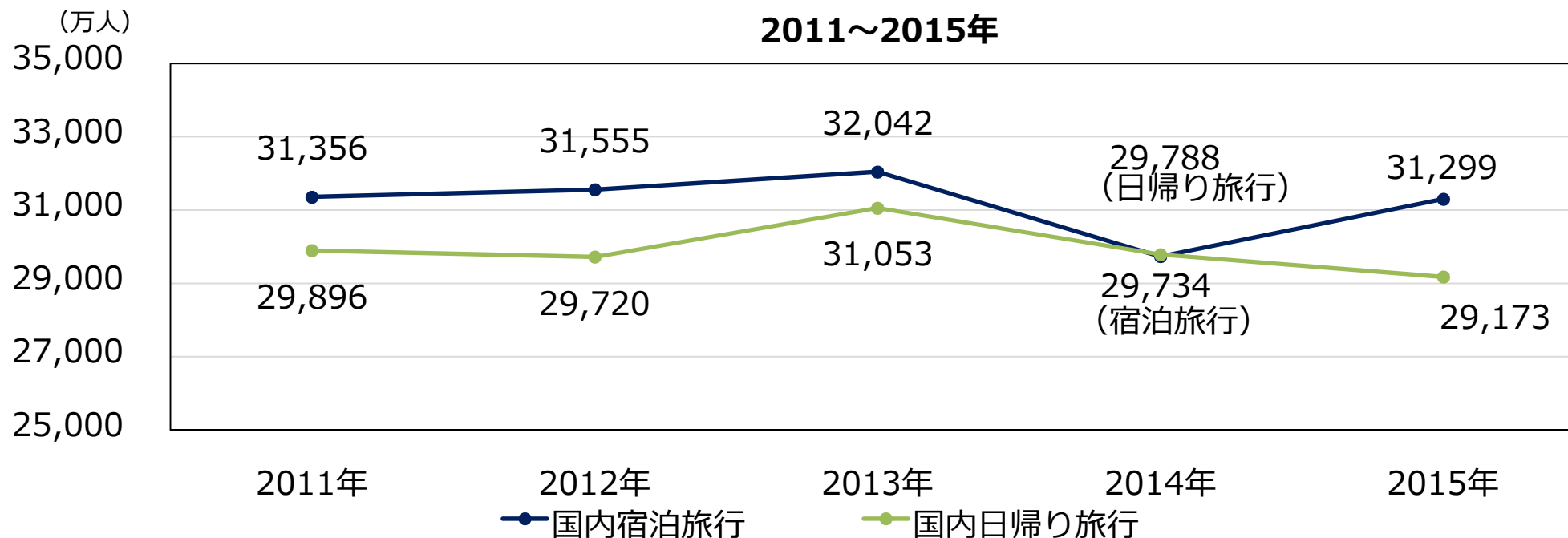
国民1人当たり国内宿泊観光旅行の回数及び宿泊数の推移



(注)2008年までは、20歳から79歳までが調査対象。
2009年以降は、全年齢が調査対象。

日本の観光の動向(国内旅行・宿泊の状況)

(図) 日本人国内宿泊旅行延べ人数、国内日帰り旅行延べ人数の推移



日本人国内宿泊旅行、国内日帰り旅行の消費額の推移

2011~2015年

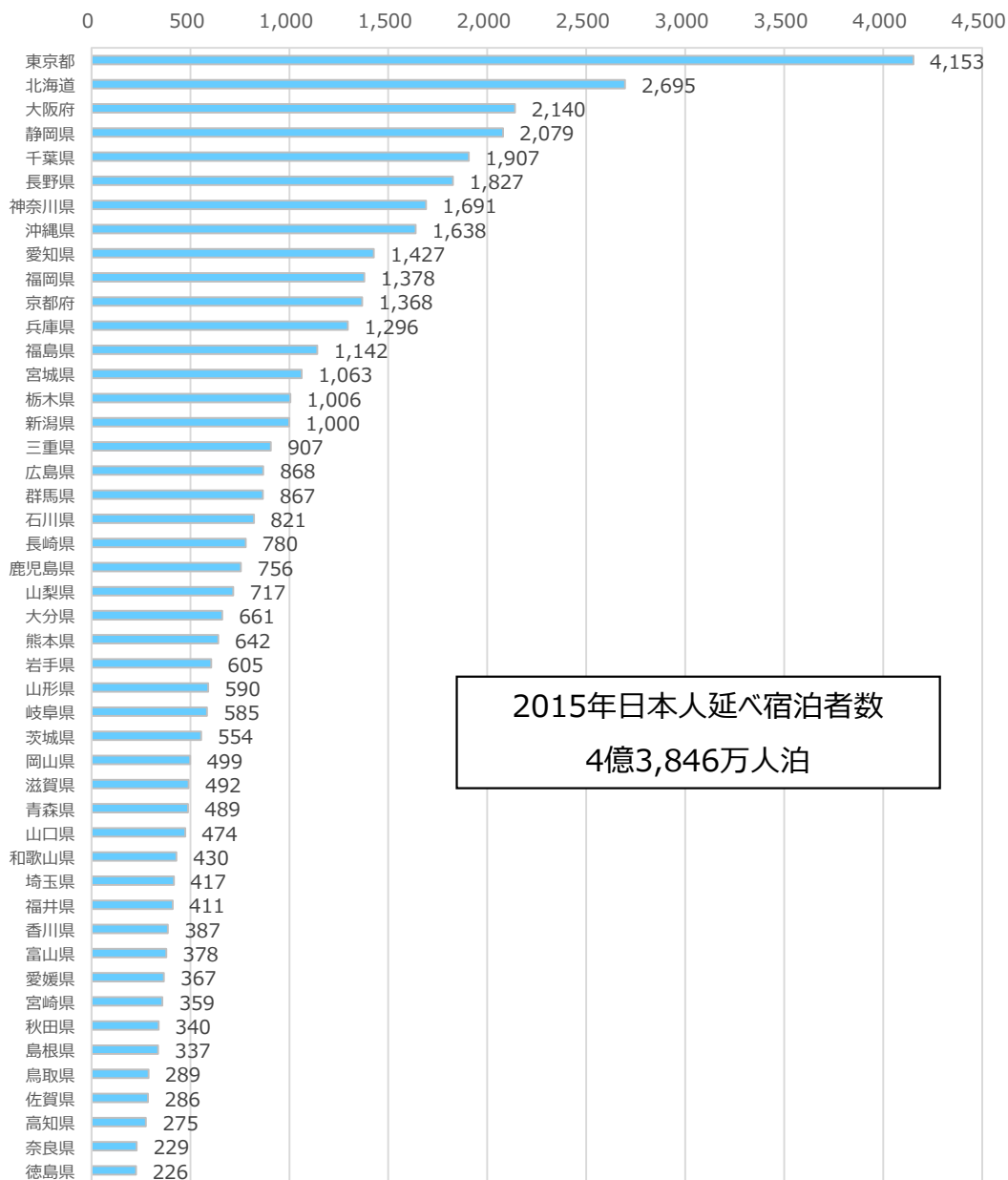
単位: 兆円
()内は対前年比増減率

	2011	2012	2013	2014	2015
国内宿泊旅行	14.8 (-3.8%)	15.0 (1.3%)	15.4 (2.9%)	13.9 (-9.9%)	15.8 (13.8%)
国内日帰り旅行	5.0 (-2.2%)	4.4 (-10.2%)	4.8 (7.4%)	4.5 (-5.2%)	4.6 (1.5%)

都道府県別日本人・外国人延べ宿泊者数(2015年)

日本人延べ宿泊者数

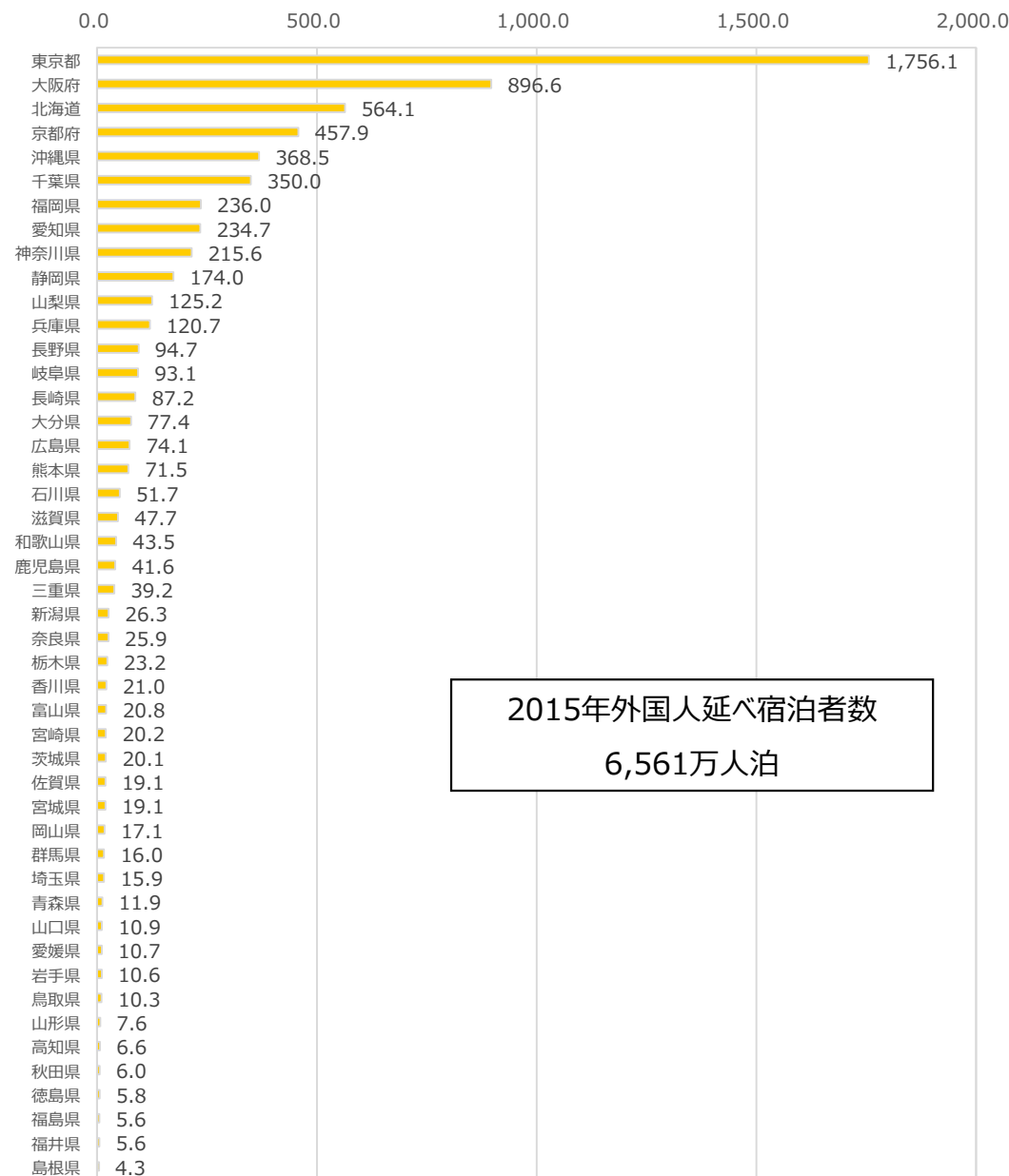
(単位：万人泊)



2015年日本人延べ宿泊者数
4億3,846万人泊

外国人延べ宿泊者数

(単位：万人泊)



2015年外国人延べ宿泊者数
6,561万人泊

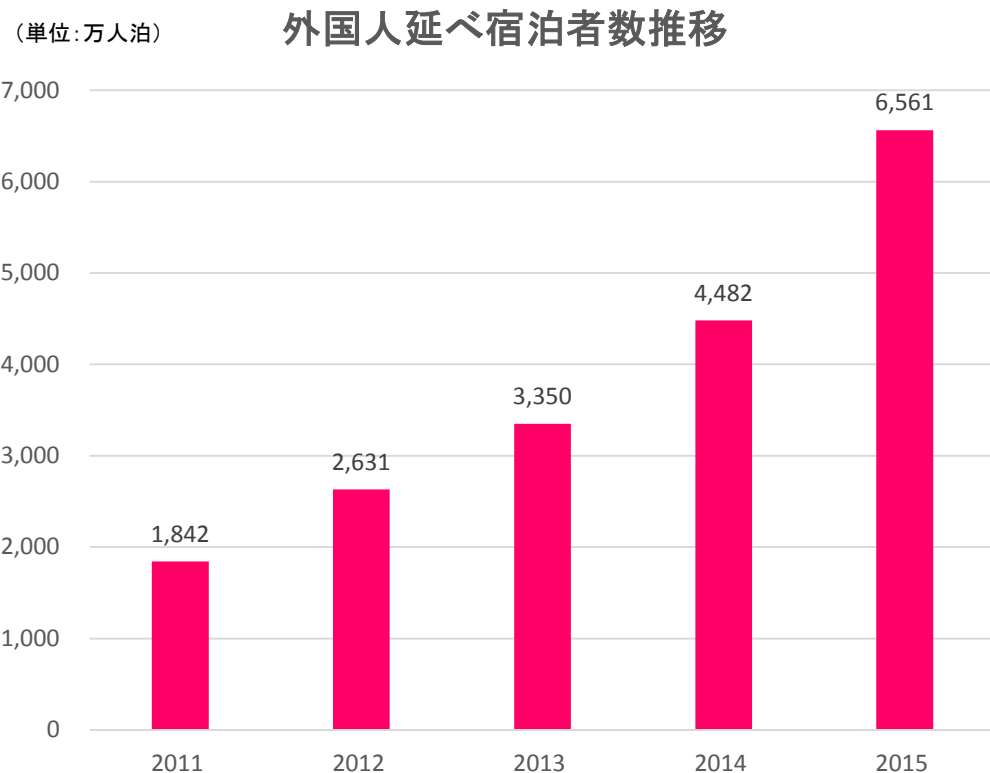
出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

注1：「外国人」とは、日本国内に住所を有しないものをいう。

外国人延べ宿泊者数

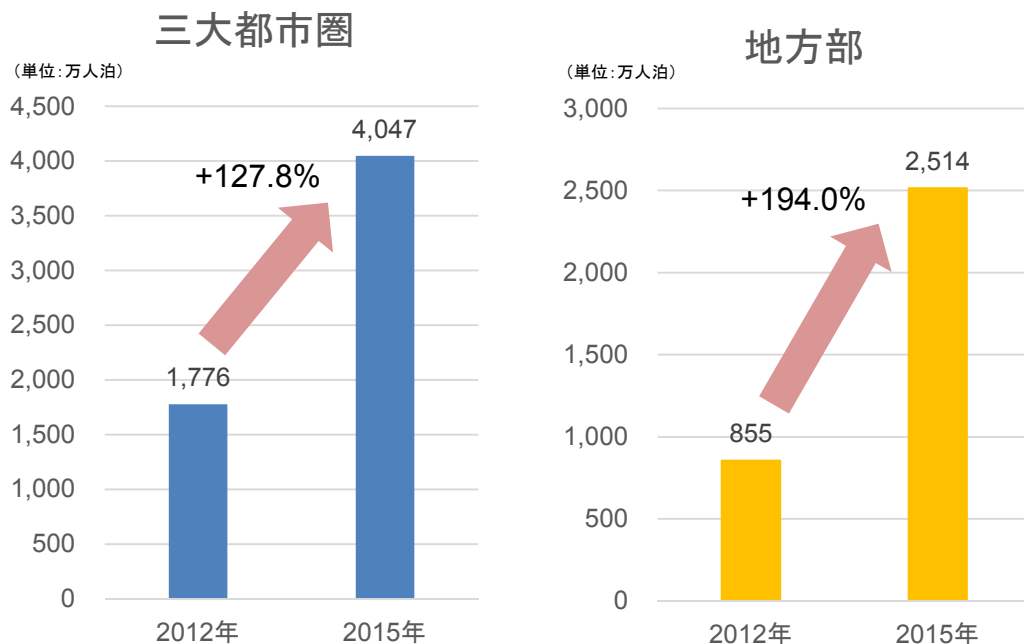
◇ 延べ宿泊者数について

- 延べ宿泊者数(全体)は5億408万人泊(前年比+6.5%)と2007年の調査開始以来、最高となり、初めて5億人泊を超えた。
- 日本人は4億3,846万人泊(前年比+2.3%)、外国人は大幅に増加し、6,561万人泊(+46.4%)であった。



◇ 三大都市圏及び地方部における外国人延べ宿泊者数比較

- 2015年における三大都市圏と地方部(※)の外国人延べ宿泊者数を2012年と比較すると、三大都市圏で+127.8%、地方部で+194.0%と、地方部の伸びが三大都市圏の伸びを上回っている。



※)三大都市圏とは、「東京、神奈川、千葉、埼玉、愛知、大阪、京都、兵庫」の8都府県をいう。地方部とは、三大都市圏以外の道県をいう。

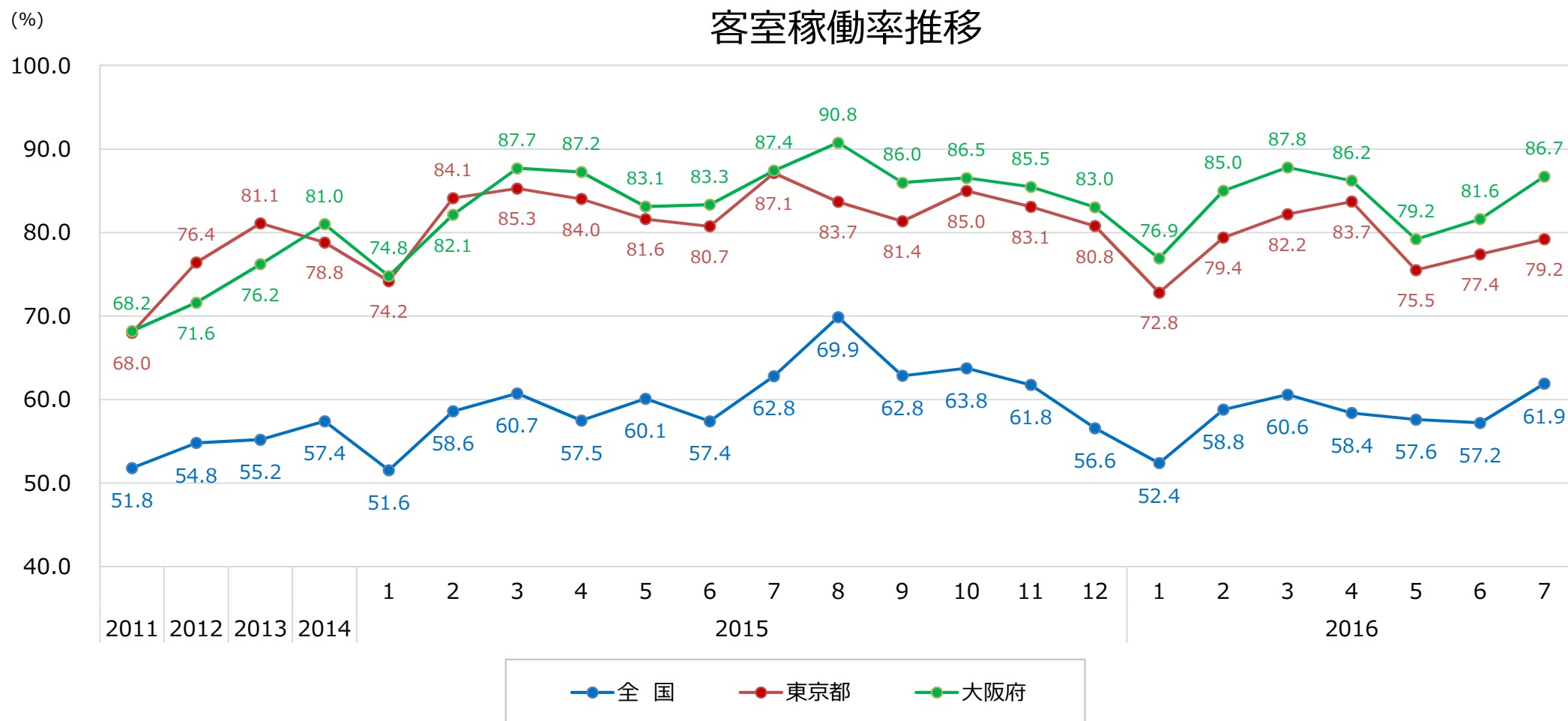
運輸局別・国籍別外国人延べ宿泊者数構成比(2015年)



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」従業員数10人以上の施設に対する調査から作成
 ※欧州はドイツ・イギリス・フランスの3ヶ国
 ※平成27年4月分調査よりイタリア、スペインを追加

客室稼働率の推移(2011年～2016年7月)

- 平成28年7月の客室稼働率は全体で61.9%であった。
- 東京及び大阪府の平成28年7月の客室稼働率は、80%前後と引き続き高い値で推移している。



出典：宿泊旅行統計調査（観光庁）
2011年から2015年は確定値、2016年は第2次速報値

客室稼働率(都道府県別・宿泊施設タイプ別)(2015年)

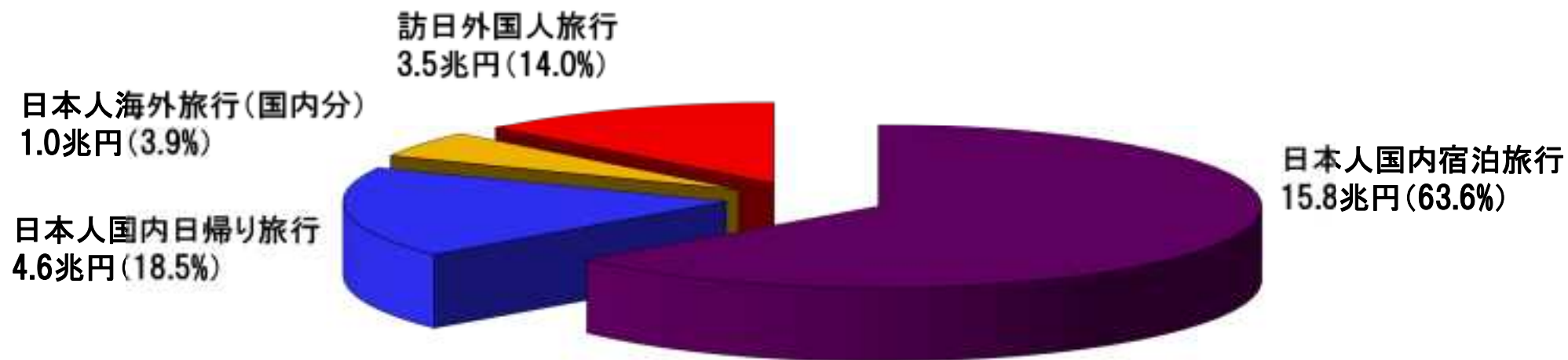
■ : 80%以上 **赤字** : 1位

(左、単位:%、右:宿泊施設タイプ別の都道府県順位)

	旅館		リゾートホテル		ビジネスホテル		シティホテル		簡易宿所	
	稼働率	順位	稼働率	順位	稼働率	順位	稼働率	順位	稼働率	順位
全国	37.0	-	56.0	-	74.2	-	79.2	-	27.1	-
北海道	46.4	7	48.2	27	72.3	17	77.5	14	25.9	12
青森県	40.3	14	43.3	33	66.0	36	59.1	45	11.9	40
岩手県	38.7	18	40.6	38	69.5	25	65.1	35	29.4	10
宮城県	45.9	9	41.4	36	73.1	14	69.9	26	34.0	7
秋田県	32.3	31	34.7	42	61.0	47	64.1	40	20.2	21
山形県	31.3	33	28.5	46	67.9	30	67.8	30	10.4	45
福島県	36.3	26	43.5	32	79.2	6	74.7	18	9.1	46
茨城県	24.9	45	44.4	31	63.7	44	67.2	31	14.1	37
栃木県	38.9	17	49.3	26	67.4	34	59.5	44	11.7	42
群馬県	44.7	10	41.3	37	67.6	31	64.2	38	10.7	44
埼玉県	24.7	46	35.6	41	75.6	11	79.6	10	24.8	14
千葉県	41.0	11	82.9	2	71.9	19	81.2	6	29.5	9
東京都	59.0	1	74.4	4	85.3	2	83.6	3	63.4	1
神奈川県	46.0	8	60.1	9	79.4	5	82.0	5	44.6	3
新潟県	25.3	44	31.0	45	64.3	43	65.2	34	21.3	17
富山県	35.9	29	47.7	28	72.9	15	71.2	23	25.7	13
石川県	56.7	2	55.0	18	77.4	9	79.0	12	22.8	15
福井県	30.8	36	33.8	43	69.4	26	56.6	46	11.1	43
山梨県	36.0	28	58.2	13	71.5	20	62.4	41	19.1	25
長野県	26.0	43	37.1	40	68.7	27	71.8	22	12.4	39
岐阜県	38.4	20	52.0	24	72.7	16	72.3	20	19.6	24
静岡県	39.7	15	52.7	21	70.2	24	76.9	15	18.3	27
愛知県	31.0	35	56.4	17	78.0	8	82.6	4	43.6	4

	旅館		リゾートホテル		ビジネスホテル		シティホテル		簡易宿所	
	稼働率	順位	稼働率	順位	稼働率	順位	稼働率	順位	稼働率	順位
三重県	30.6	38	51.5	25	65.9	37	74.3	19	7.0	47
滋賀県	32.5	30	58.2	14	74.9	12	69.6	27	20.3	19
京都府	49.3	4	53.0	20	83.2	3	85.7	2	36.4	5
大阪府	50.5	3	89.8	1	86.8	1	86.8	1	57.8	2
兵庫県	36.2	27	58.8	11	80.8	4	80.2	9	17.0	31
奈良県	29.0	41	73.4	5	68.2	29	77.5	13	20.7	18
和歌山県	40.9	12	54.5	19	64.4	41	71.8	21	15.1	35
鳥取県	37.1	22	23.8	47	70.6	23	74.9	17	11.8	41
島根県	36.9	23	33.2	44	74.6	13	68.9	29	22.2	16
岡山県	29.5	40	40.3	39	71.5	21	66.1	33	20.3	20
広島県	36.8	24	58.3	12	78.1	7	79.1	11	29.4	11
山口県	40.8	13	52.3	22	66.9	35	65.1	36	20.2	22
徳島県	26.4	42	52.0	23	67.5	32	62.3	42	15.6	34
香川県	32.1	32	56.4	16	65.0	39	64.5	37	18.7	26
愛媛県	49.2	5	47.1	29	64.4	42	69.1	28	18.1	28
高知県	31.2	34	45.1	30	63.3	45	70.1	25	17.8	29
福岡県	30.2	39	66.0	7	71.4	22	81.0	7	31.7	8
佐賀県	47.3	6	65.6	8	61.9	46	56.2	47	13.7	38
長崎県	39.2	16	66.2	6	72.0	18	76.6	16	15.9	33
熊本県	38.7	19	57.1	15	68.4	28	71.1	24	17.5	30
大分県	36.5	25	60.0	10	67.4	33	67.0	32	14.6	36
宮崎県	30.7	37	42.5	34	65.0	40	60.6	43	19.7	23
鹿児島県	37.1	21	41.6	35	65.4	38	64.1	39	16.7	32
沖縄県	11.9	47	75.0	3	75.6	10	80.8	8	34.8	6

24.8兆円



観光庁「旅行・観光消費動向調査」、「訪日外国人消費動向調査」より算出

旅行消費額の推移について(2010年～2015年)

単位:兆円

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
日本人国内宿泊旅行	15.4	14.8	15.0	15.4	13.9	15.8
日本人国内日帰り旅行	5.1	5.0	4.4	4.8	4.5	4.6
日本人海外旅行(国内分)	1.1	1.2	1.3	1.2	1.1	1.0
訪日外国人旅行	1.1	0.8	1.1	1.4	2.0	3.5
合計	22.7	21.8	21.8	22.8	21.6	24.8